

製品名: IL-13R α 2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12500**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	44kDa

抗原情報

遺伝子名	IL13RA2
別名	IL13RA2; IL13R; Interleukin-13 receptor subunit alpha-2; IL-13 receptor subunit alpha-2; IL-13R subunit alpha-2; IL-13R-alpha-2; IL-13RA2; Interleukin-13-binding protein; CD213a2
遺伝子 ID	3598.0
SwissProt ID	Q14627
免疫原	インターロイキン-13 受容体サブユニット α -2 由来の合成ペプチド（アミノ酸範囲: 241-290）

背景

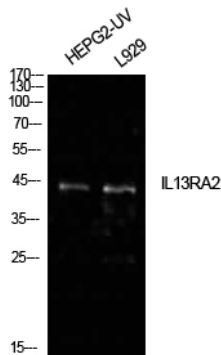
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インターロイキン 13 受容体複合体のサブユニットである IL13RA1 と密接に関連し

ています。このタンパク質はIL13に高い親和性で結合しますが、細胞質ドメインを欠いており、シグナル伝達因子としては機能しないようです。IL13の内在化に関与することが報告されています。[RefSeq提供、2008年7月]、ドメイン：ボックス1モチーフは、JAKとの相互作用および/または活性化に必要です。、ドメイン：WSXWSモチーフは、適切なタンパク質フォールディング、ひいては効率的な細胞内輸送および細胞表面受容体への結合に必要と考えられます。、機能：モノマーとしてインターロイキン13(IL13)に高い親和性で結合しますが、IL4には結合しません。、類似性：I型サイトカイン受容体ファミリーに属します。タイプ5サブファミリー。、類似性：フィブロネクチンIII型ドメインを1つ含みます。、

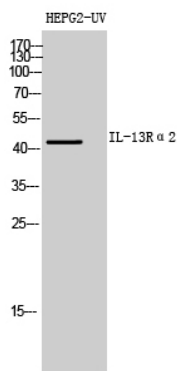
研究分野

ジャク_STAT;

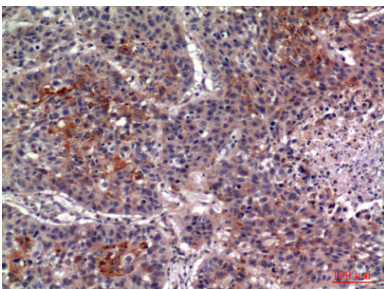
画像データ



IL-13R α 2 ポリクローナル抗体を用いた HepG2 (UV) L929 細胞のウェスタンブロット解析。抗体は 1:500 に希釈し、二次抗体は 1:20000 に希釈した。



IL-13R α 2 ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いた HEPG2-UV 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1: 20000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された